

同志社女子大学
日本語日本文学

第三十三号

目 次

- 鳥の子……………吉野政治(1)
- 歌かるたの成立と細川家……………吉海直人(11)
——付、三浦綾子作『細川ガラシャ夫人』——
- 新元号「令和」出典考……………吉海直人(23)
——「梅花の宴」の二重構造——
- 殿舎「藤壺」考……………黒川真未(39)
——史実と『源氏物語』の視座——
- 市立米沢図書館蔵『こしこえ』翻刻・解題……………宮腰直人(55)
——米沢と幸若舞曲——
- 志賀直哉年譜考(十六)……………生井知子(65)
——明治四十二年七月から十二月まで——
-
- 彙報・執筆者紹介……………(77)
-
- 観光のまなざし・観光の身体……………エリオット・アンドリュース(I)
——1872年~1906年の京都円山における、ホテル、
サイトシーイング、外客をめぐる試論——
- 出版者丹羽圭介の視点による山本覚馬著英文
『京都とその近郊の名所案内』(1873)の詳細な制作背景
……………千代間泉(23)
- 卒業論文ノート
「優勝する」「しか勝たん」の新用法・「耐える」の新用法……………(39)

同志社女子大学

日本語日本文学会